

意見等一覧（令和 6 年度第 2 回東京都歯科保健推進計画検討評価部会）

No	該当	意見等
1	－	都内のJDAT（歯科医療救護班）や他県から派遣されるJDAT等、それぞれの役割や活動、訓練を都のマニュアルとして記載する際は、誰が読んでも分かりやすいように説明してほしい。
2	第 2 節	「応急歯科診療の概要」について、発災後72時間の緊急医療救護所で行う活動とその後の避難所医療救護所で行う活動は分けた方が、医療救護活動との関係が分かりやすくなる。また、超急性期と急性期の活動については分けて記載してほしい。
3	第 3 節	JDATだけでなく、歯科保健医療活動に関わる団体を全て掲載した方が、その後の活動内容等の記載について分かりやすくなるのではないか。
4		JDATが積極的に防災訓練などに参加するとあるが、どここの訓練（都レベルだと思うが）に参加することを想定しているのか明確に記載してほしい。
5	第 5 節	亜急性期及び慢性期の活動について、被災地の地区歯科医師会は外部からの支援に伴い、自院の復興準備にとりかかるとの認識だが、本ガイドラインでは、亜急性期以降も地元の歯科医師会が歯科保健医療救護活動を行うという考え方なのか。
6	第 6 節	地区歯科医師会に対して、会員の安否確認後、区市町村へも地域の歯科医療機関の状況を報告するよう依頼している自治体もある。都のマニュアルにもその記載を入れてほしい。
7	第 8 節	「巡回等による歯科保健指導の準備 1」にコーディネーター役の設置について記載されているが、具体的にどのような立場の方を想定しているのか。
9		区市町村の歯科衛生士は人数が限られている一方、被災した自治体の歯科医師会は、早期に復興の準備にとりかかる必要がある。そのため、災害時において歯科保健活動は主に受援で行うことになると考えられる。歯科保健活動の内容については、受援と支援に分けた方が実用的だと思う。本素案は、主に支援活動について記載されているが、歯科医療救護班やJDAT（都外からの派遣）など、支援者の活動として記載するとそれぞれの役割が分かりやすいのではないか。
10	第 8 節	巡回による歯科保健指導の準備について、既に災害歯科医療コーディネーターを設置している区の事例などを記載してほしい。
11		巡回等による歯科保健指導の準備について、担い手が不明確で分かりにくい。
12		区市町村が平時から用意しておくべき書類・様式類等を例示してほしい。

意見等一覧（令和 6 年度第 2 回東京都歯科保健推進計画検討評価部会）

No	該当	意見等
8	第 9 節	関係団体との協議には区市町村の歯科保健担当部署が当たると記載されているが、具体的にはどのような場を想定しているのか、また東京都ではどのような協議の場を設けているか教えてほしい。
14		歯科専門職がいない自治体があることも踏まえ、備蓄の工夫や備蓄が難しい場合の調達方法（JDATへの依頼方法など）も案内してほしい。
15		歯科単独の研修を実施することは難しいと感じている。歯科保健活動に関する訓練であれば自治体の避難所訓練に合わせて実施するなど、自治体の好事例を示してもらうとイメージしやすい。